

開講科目名 / Course	健康情報処理演習
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	1
主担当教員 / Main Instructor	品川 佳満
担当教員名 / Instructor	品川 佳満、野津 昭文、岡田 悠希
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	演習
授業回数	15
科目の目的と概要	健康情報処理演習 で修得した技術をベースに、看護や医療分野におけるデータ解析に関するスキルを身に付ける。また、高度情報社会において単に情報機器の操作ができるだけでは不十分であるため、看護職者に必要な情報倫理・セキュリティ、医療を支える情報システムやICTの活用に関する基礎知識等の修得も目指す。
到達目標	1. コンピュータやネットワークに関する基礎的な用語の説明ができる。 2. 医療機関における個人情報保護のための対策・対応がとれる。 3. 情報セキュリティにまつわる危険を回避できる。 4. 医療機関で利用する情報システムの意義や役割について説明できる。 5. 情報と看護の関係やICTの看護への活用について説明できる。 6. 統計解析ツールを用いて基本的なデータ解析が行える。
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、6.探究心と創造力
授業計画	01. コンピュータの基礎（情報の表現・ハードウェア・ソフトウェア） 02. ネットワークの基礎 03. 情報倫理（個人情報の取り扱い） 04. 情報セキュリティ(1) 情報セキュリティの基本 05. 情報セキュリティ(2) 各脅威への対策 06. 医療における情報システム(1) 病院情報システム 07. 医療における情報システム(2) 電子カルテシステム 08. 情報と看護の関係、ICT（IoT、AI、ビッグデータ等）の看護への活用 09. データ解析(1) R(RStudio)の基本（データ構造、基本操作） 10. データ解析(2) R(RStudio)を用いたデータの可視化と要約 11. データ解析(3) R(RStudio)を用いた推定・検定 12. データ解析(4) R(RStudio)を用いたデータ解析課題 13. データ解析(5) SPSSの基本（データの準備と基本的手法） 14. データ解析(6) SPSSを用いた統計処理（結果の読み取りと利用） 15. データ解析(7) 医療・保健データの解析課題 他の講義（生物統計学、健康情報学）の進行状況によって順番が入れ替わる場合がある。
その他の授業の工夫	クラウドサービスの活用により、インターネットにつながる環境であれば、どこからでも講義資料の閲覧や演習課題に取り組むことができる。
時間外学修	事前学修：Classroomにアップロードした資料を閲覧しておく（4h）。 事後学修：練習問題・課題を提示する。その問題を解くことで、知識・技術が身についているか確認を行う（8h）。
評価方法と評価割合	筆記試験：60% レポート・課題：40% 期限後に提出された課題や欠席した回の課題は、減点または評価対象外とする。 欠席が5回を超えると不合格となる（20分までの遅刻は2/3の出席、それを超えると欠席として取り扱う）。また、他人のファイルをコピーして提出したことが発覚した場合、試験を正当な理由なく欠席した場合は、不合格となる。
テキスト	特に指定しない。 毎回ハンドアウトを配布する。参考図書は適宜紹介する。

参考書	エssenシャル看護情報学（医歯薬出版） Rで学ぶ統計的データ解析（講談社） 看護師・看護学生のための情報倫理学習支援サイト（ https://www.kango-jorin.com ）	
履修する上で必要な要件	健康情報処理演習 の単位を修得済み、あるいは修得見込みであること。	
その他	データ解析に関する演習は、「健康情報処理演習」で学んだ表計算ソフト（Excel）に関する基本的操作および「生物統計学」「健康情報学」で学んだ講義内容を踏まえたものになるため、十分復習したうえで受講すること。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	品川佳満：病院の電算部門でのシステム開発・管理
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	病院でのシステム開発や情報に関するトラブル対応経験をもとに、医療情報システムの役割や、医療情報の取扱いについて教授する。	